

科目名	発達障害作業治療学	担当教員	佐藤拓也 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	2単位	講義

科目概要	発達期に生じた障害を有する小児では、疾患により特徴的な問題を抱え易く、また、現在のみならず将来に亘りライフステージによって対処すべき課題があり、療育の視点に基づいた作業療法支援が必要となる。本講義では、作業遂行要素の評価を基に、とくに脳性運動障害児、発達障害児、進行性疾患（筋ジストロフィー）の障害構造、発達過程での対処すべき課題に対する理解を深める。また、代表的な治療理論について理解し、対象児への具体的な作業療法介入について幅広い視野から考察を深める。
学習目標	脳性運動障害児、発達障害児、進行性疾患（筋ジストロフィー）の障害構造について理解する。対象児の発達過程で対処すべき課題、具体的な作業療法介入の考え方・方法について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	作業療法の概要、過程	発達障害領域における作業療法の概要、評価～治療の過程について	発達障害領域における作業療法の目的などの概要、評価～治療過程での留意すべき点について理解する。	
2	脳性麻痺の評価・治療	脳性麻痺児で見られる異常姿勢／運動の形成過程、生じる問題、対処について	脳性麻痺児で見られる異常姿勢／運動の形成過程、生じる問題、対処について理解する。	
3	脳性麻痺の評価・治療	痙直型両麻痺児の病態、問題、対処について	痙直型両麻痺児の障害特徴・関連して生じる問題、治療介入のポイントを理解する。	
4	脳性麻痺の評価・治療	痙直型片麻痺児の病態、問題、対処について	痙直型片麻痺児の障害特徴・関連して生じる問題、治療介入のポイントを理解する。	
5	脳性麻痺の評価・治療	アテトーゼ型児の病態、問題、対処について	アテトーゼ型児の障害特徴・関連して生じる問題、治療介入のポイントを理解する。	
6	脳性麻痺の評価・治療	脳性麻痺児の日常における姿勢指導	脳性麻痺児に対する日常生活・あそび場面での姿勢指導の目的・方法について理解する。	
7	重症児・者の評価・治療	重症心身障害児・者の異常姿勢の評価、posturingの考え方・具体的方法について	重症心身障害児・者の異常姿勢の評価、posturingの考え方・具体的方法について理解する。	
8	食事の支援	様々な対象児の食事の問題、摂食機能の発達と評価、食事指導の実際	食事に関する問題、摂食機能の発達過程と評価の視点、実際的な指導のアプローチについて理解する。	
9	各機能の評価・治療	上肢、視覚機能、心理・社会機能の発達と評価・治療の視点	粗大運動発達を基盤とした上肢機能・視覚機能、心理・社会機能の発達過程と評価・治療の視点について理解する。	
10	各機能の評価・治療	ADLの発達過程・評価・治療の視点 学習・就労に向けた評価・支援の視点	ADLの発達過程と評価・治療の視点について、学習・就労に向けた評価・支援の視点について理解する。	
11	各機能の評価・治療	遊び・認知発達の過程・評価・治療の視点	遊び・認知発達の過程と、評価・治療の視点について理解する。	
12	治療手段としての遊び	作業療法手段としての遊びの要件について	遊びを作業療法に取り入れるために必要な要件について理解する。	
13	治療理論	感覚統合療法ほか代表的な治療理論について	感覚統合理論と治療の考え方、ほか代表的な治療理論について理解する。	
14	発達障害の評価・治療	自閉症、AD/HD、LDなど発達障害の特性、課題と作業療法介入について	自閉症、ADHD、LDなど発達障害の特性、課題と作業療法支援の介入について理解する。	

15	筋ジストロフィーの評価・治療	筋ジストロフィー(DMD)の特徴、ライフステージによる課題と作業療法介入について	DMD患者の特徴、ライフステージによる課題と作業療法支援の介入について理解する。
	評価方法	筆記試験(100%)	
	教科図書	発達障害の作業療法〔基礎編〕第2版 三輪書店 発達障害の作業療法〔実践編〕第2版 三輪書店	
	参考図書	発達障害と作業療法〔基礎編〕三輪書店 発達障害と作業療法〔実践編〕三輪書店 作業療法学全書第6巻作業治療学3 発達障害 協同医書 脳性まひ児の家庭療育 第4版 医歯薬出版 正常発達 脳性まひ治療への応用 三輪書店	
	学習の準備	指定した教科書の該当部分を事前に読んでおくこと 人間発達学、発達障害基礎論、作業療法評価学など既習内容について確認しておくこと	
	オフィスアワー	講義1回目のガイダンスで説明する。	
	担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験		